

子どもの貧困対策について

【担当省庁】 文部科学省

「学校をプラットフォームにした総合的な子供の貧困対策の推進事業」への採択

◆ 子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、家庭の経済状況にかかわらず、学習意欲と能力のある全ての子どもが、質の高い教育を受けることができる環境をつくる必要がある。

特に、義務教育から高校への進学にあたって、進学希望を断念することのないよう、学習機会を提供する環境整備を図ることは重要である。

このため、京都府では、国において概算要求中の「学校をプラットフォームにした総合的な子供の貧困対策の推進（学習支援）」事業を利用し、学習意欲があるにもかかわらず経済的な理由で学習機会を得られない中学生を対象に公営住宅や福祉施設等の地域資源を活用して、大学生や教員OBをはじめとした地域住民との連携により、参加料を原則無料にした学習支援事業を実施したいと考えている。

については、「**学校をプラットフォームにした総合的な子供の貧困対策の推進（学習支援）**」事業の予算を確保していただくとともに、**京都府の事業**を採択していただきたい。

<文部科学省の概算要求>

- ◎ 学校をプラットフォームにした総合的な子供の貧困対策の推進(学習支援の充実)3億円(新規)
地域全体で学校教育を支援する体制を活用し、大学生や教員OB等の地域住民と連携した中学生への学習支援を実施

【現状・課題等】

◎ 生活保護世帯の高校進学状況（平成 25 年度調査）

	生活保護世帯		全世帯	
	京都府	全 国	京都府	全 国
高校等進学率	86.8%	90.8%	99.0%	98.4%
高校等中退率	2.8%	5.3%	1.6%	1.5%

【京都府の担当課】

教育庁管理部 総務企画課 075-414-5707